

# テレワーク広域連携会議 について

2022/10/06 (木)

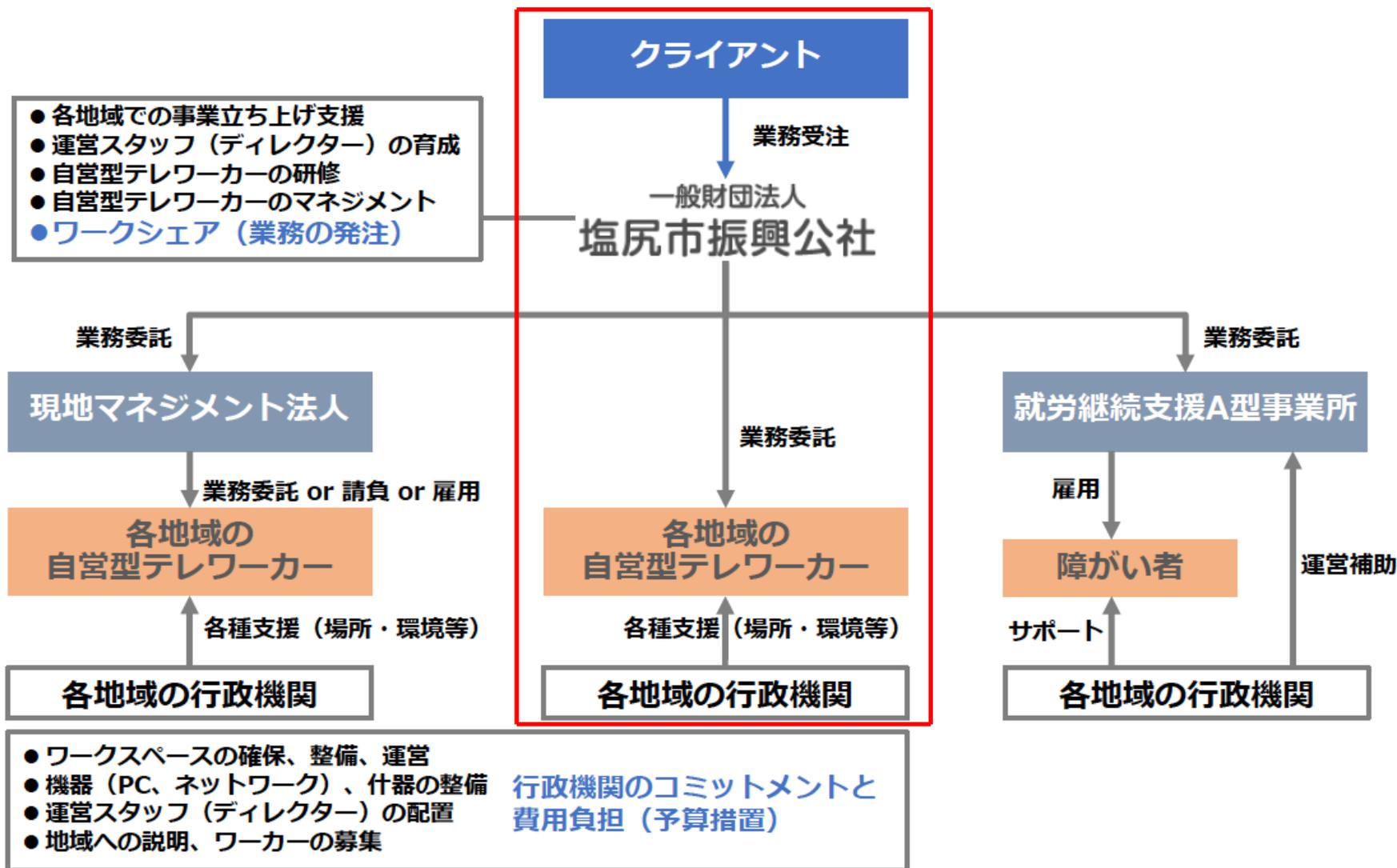
ネットワークシステムズ株式会社

総務省 地域情報化アドバイザー&テレワークマネージャー

塩尻市振興公社 テレワーク事業アドバイザー

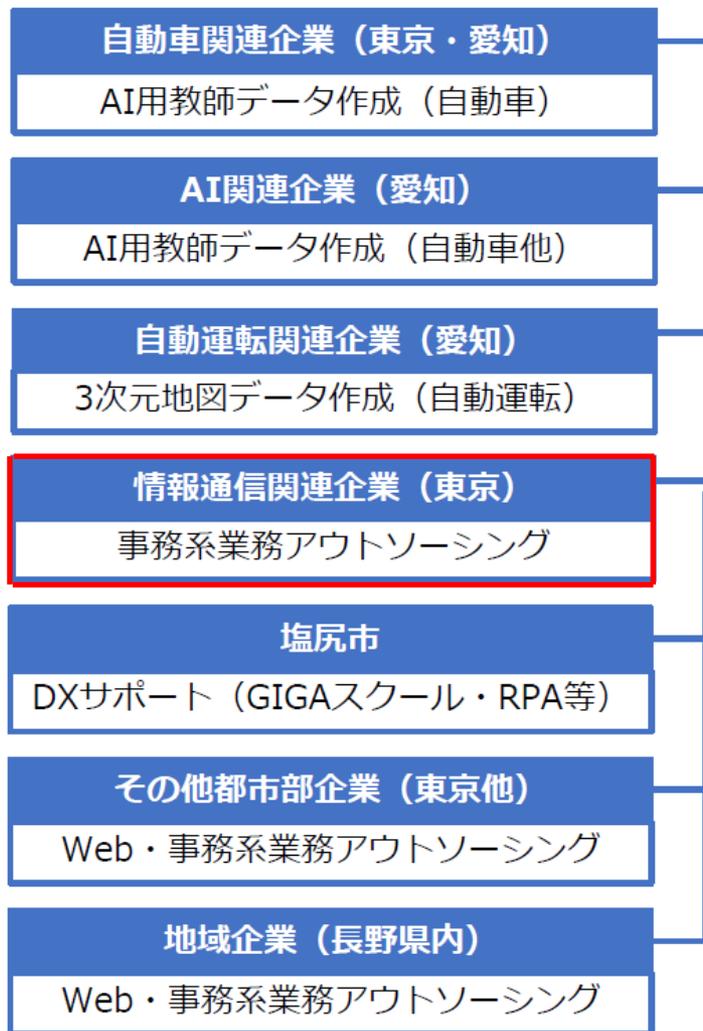
尾形誠治

# 塩尻市振興公社との連携スキーム



# 仕事とのマッチング

## クライアント



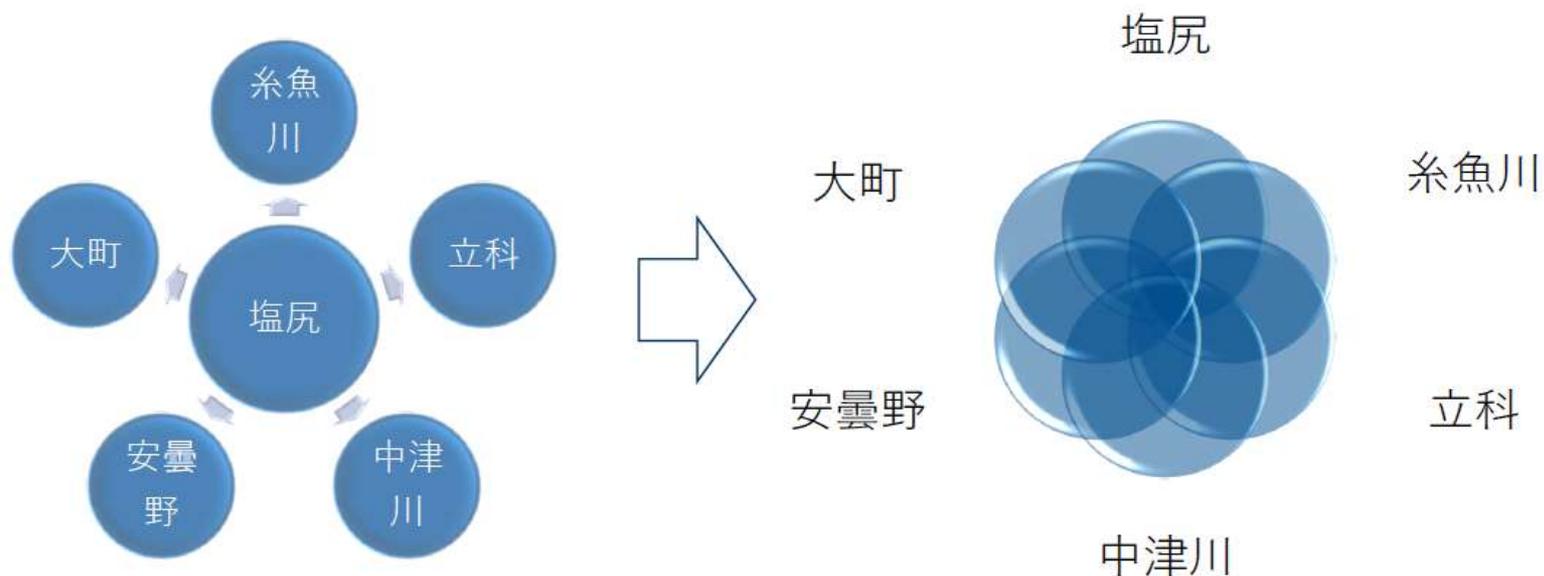
一般財団法人  
塩尻市振興公社

## 各地域の自営型テレワーカー



# テレワーク広域連携会議

それぞれの地域課題に即したテレワーク事業促進にあたり  
地域間のノウハウや情報を共有できる場として活用していく。



# 会議開催の方法

## 1. 開催頻度

月1回程度

\*状況に合わせて都度開催。

## 2. 開催形式

基本オンライン形式（Zoom等）

\*コロナの状況次第で各拠点の現地視察を兼ね実施検討

\*録画して後で見れるようにする

## 3. 使用ツール

**SLACK**スペース「テレワーク広域連携通信」

**Web**会議ツール 基本**Zoom**を想定

\*必要に応じてファイル共有など検討



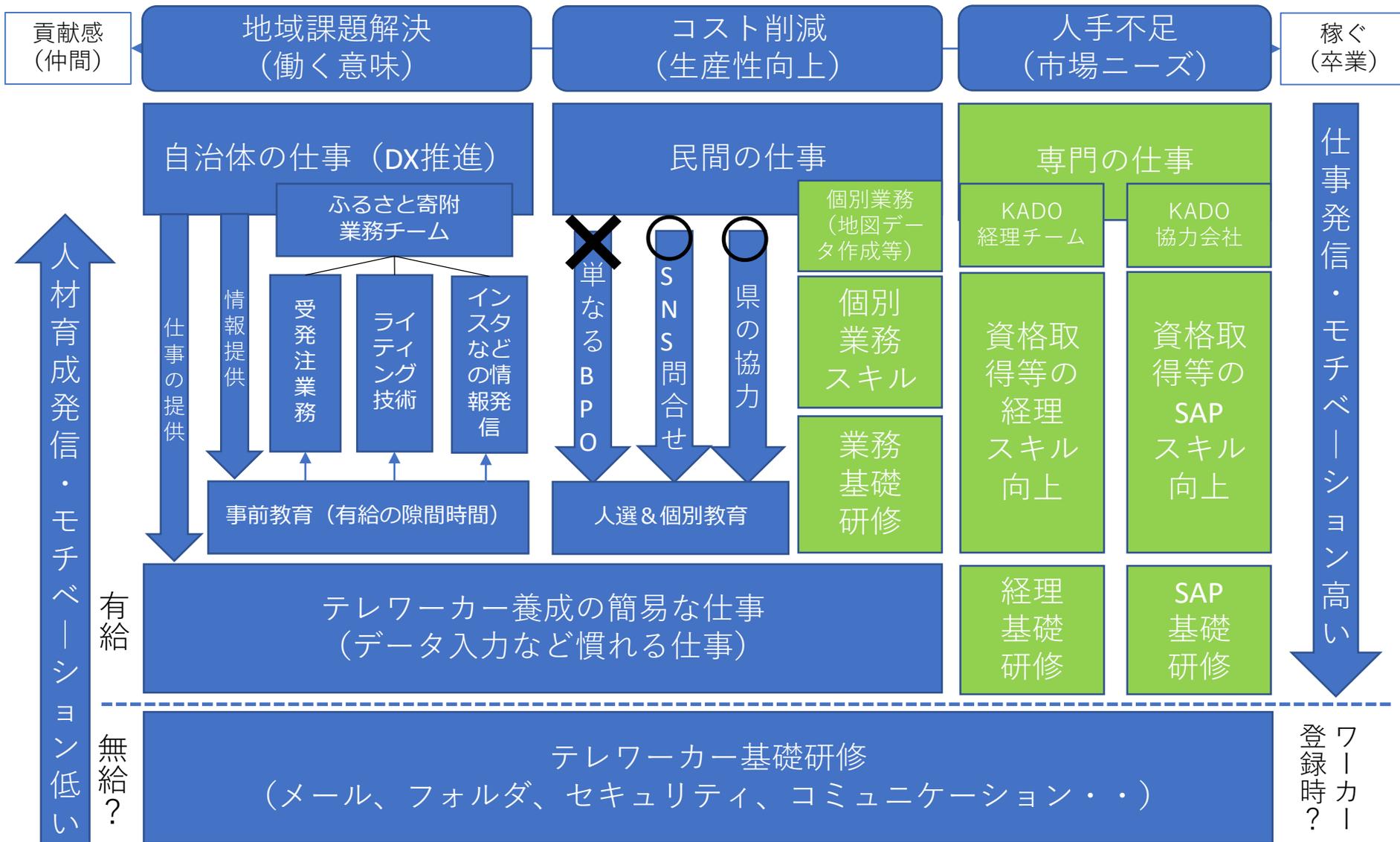
# 拠点情報

8月10日現在

拠点	運営組織	窓口	データ ター	拠点	人口	登録 数	就業 者数	リーダ 数	端末 数	備考
塩尻	塩尻市振興 公 (KADO)	三枝主事  統括㊟☒ 柳澤さん 田中さん	運営サ ポート ㊟☒ 畠山さん 小澤さん 青山さん	KADO ウイング ロード (旧イトー ヨーカ堂)	65,912	437	182	25	160	<a href="https://kado.shiojiri.com/">https://kado.shiojiri.com/</a>
安曇野	安曇野市 商工労政課	横川主任	高田さん 田村さん	安曇野市テレワー クセンター(旧穂高 支所)	95,595	94	26	2	39	
立科	立科町 企画課	上前係長	牧内さん 斉藤さん	立科町テレワーク センター(ふるさ交 流館 (旧銀行))	6,997	65	31	1	25	<a href="https://tateshina-telework.jp/">https://tateshina-telework.jp/</a>
大町	大町市 商工労政課	降旗課長 補佐 傘木主査	傘木さん 長谷川さん	商店街コワーキン グ (空店舗)	26,630	23	1	1	10	イイココ・ インキュ ベーション 合同会社 長 谷川雄CEO
糸魚川	糸魚川市 商工観光課	久保田主 査	下越さん 小出さん	いといがわテレ ワークオフィ 「thread」(職業訓 練校 (旧校舎))	40,681	56	4	3	25	<a href="https://itogawa-thread.com/">https://itogawa-thread.com/</a>
中津川	中津川市 市民協働課	鷹見さん 市川さん		中津川市テレワー ク推進事業(駅前複 合施設 (旧ダ エー))	76,459	32	19	1	23	

\* 就業者数は6月実績分まで

# 第2回テレワーク広域連携会議での意見による人材育成のイメージ



地域コミュニティの形成が土台 (= 同じ仲間がいるという意識)

# 他拠点 参考資料

# 2021年11月塩尻市広報



「家事や子育てがあって自由に働けない」  
「久しぶりに働きたいけどフルタイムは難しい」  
「スキルはあっても働く時間に制約がある」

コロナ禍において新たな働き方が生まれている中、  
「働きたい時に、安心して働ける環境」を考える時代が来ています。  
本市には、子育てや介護、障がいなど、就労に時間的な制約のある人が  
好きな時間に好きなだけ安心して働ける塩尻オリジナルの地域就労支援があり、  
地域の大きな力に成長しつつあります。



特集 **多様な働き方が  
地域を変える**  
— 塩尻市振興公社 KADO の挑戦 —



# GIGAスクールサポーター



■授業でタブレット端末の操作をレクチャーする様子。  
 ■動作を確認しながら研究授業を行う様子。  
 ■片丘小学校では授業参観をオンラインで実施し、児童と保護者は自宅から参加。大きな混乱もなく、今後の活用に期待が寄せられています。

校教員が集まり勉強会をする「研究授業」をサポート。ウェブ会議ツール「Zoom」の基本の設定や、「ブレイクアウトルーム」のような高度な機能を活用し、対面の活動と変わらない会議内容を実現していました。塩尻東小学校のGIGAスクールサポーターである長澤貴子さんは「学校現場でもテレビ会議の必要性が高まっているので、私たちがサポートしていければと思います」と語ります。

## コロナ禍でICTを活用した新たな取り組みをサポート

本市では、授業参観のオンライン開催や、音楽会のオンライン配信など、学校でのICT機器活用をさらに拡大しています。このような取り組みは、ウィズコロナ・アフターコロナに向けた新たな取り組みとして、県内の教育機関から高い評価を受けています。

※ブレイクアウトルーム…1つの部屋で開催している会議を、少数のグループに分けてそれぞれの部屋で議論ができるシステム。



## 学校でのICT活用を テレワーカーが支援

今年度、GIGAスクール構想の実現に向け、全国で広がりを迎えるICT教育。本市では、KADOのテレワーカーが学校を支援し、他地域よりもICTの活用が進んでいます。

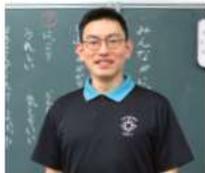
## 現場からの声



GIGAスクール構想の実現に欠かせない存在  
 教育総務課指導主事  
 高橋 和幸

GIGAスクール構想におけるICT教育は、全国的に進め方を各学校に一任しています。そのため、学校によって普及に差が出てしまいますが、本市ではサポーターの皆さんの尽力もあり、どの学校もそれぞれのペースで進んでいる印象です。学校の意見・要望などにもさまざまな提案をいただけるため、活用の幅が広がり、学校側としても非常に助かっています。

今後、ICT教育ではネットリテラシーに対する教育も必要となってきます。その際にも、サポーターの皆さんの力を借りていきたいと思っています。



サポーターのおかげで教員たちがICTの良さを実感  
 塩尻東小学校教諭  
 大澤 晴さん

子どもたちにより良い学びを提供するために、サポーターさんにはさまざまな提案をしていただいています。今年度は音楽会のオンライン配信も予定しており、当日のサポートもおお願いできるので心強いです。

タブレット端末を導入した当初は、戸惑いがありました。サポーターさんのおかげで最初の一步を踏み出せました。その結果、教員たち自身が「子どもたちにとって良いものだ」と実感できたことが良かったです。

## GIGAスクール構想の実現

今年度、全国でGIGAスクール構想による学びがスタートしました。GIGAスクール構想では、これまでの教育に加えて1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、子どもたちの学習活動や授業の充実を図ります。しかし、導入したばかりで慣れないタブレット端末の操作や、それを活用した授業のノウハウは少なく、学校現場では日々実行錯誤しながら授業を行っており、全国的な推進にはまだまだ課題があるといえます。

## GIGAスクールサポーターを配置し、学校での活用を促進

本市の小・中学校では、端末の設置や教員・子どもに対して授業のフォローなどを行うGIGAスクールサポーターを配置し、その役割をKADOのテレワーカーが担当しています。全小・中学校に配置しているため、教員の悩みへの対応や「こういう授業をしたい」という要望に対して適切な提案を迅速に行っています。



「飲み込みが早い」とサポーターが語るように、子どもたちは手慣れた様子でタブレットを操作していました。

## 教員への支援も充実し、コロナ禍以前と同等の会議を実現

GIGAスクールサポーターは、授業のほかに、教員の支援も行っていきます。塩尻東小学校のサポーターは、周辺地域の学

# 株式会社DONUTS 糸魚川市への進出決定

株式会社DONUTS（本社：東京都渋谷区）が糸魚川市内に新たにオフィスを開設することを決定し、令和4年1月13日に、多様な働き方の推進と地域経済の活性化に寄与することを目的に、糸魚川市と株式会社DONUTSとで企業立地協定を締結しました。

事業開始は令和4年3月、主にクラウド型勤怠管理システム「ジョブカン」に係る顧客問合せ対応、導入支援等の業務を行います。

<b>企業名</b>	株式会社DONUTS（ドーナツ）
<b>代表者</b>	代表取締役 西村 啓成
<b>本社所在地</b>	東京都渋谷区代々木2丁目2-1 小田急サザンタワー8階
<b>設立</b>	2007年（H19年）2月5日
<b>資本金</b>	7,777万円
<b>売上高</b>	134.4億円（2021年3月期）
<b>従業員数</b>	598人（2021年6月※派遣社員、業務委託を除く。）
<b>事業内容</b>	

- クラウドサービス事業：ジョブカン
- ゲーム事業：DONUTS GAMES
- 動画・ライブ配信事業：ミクチャ
- 医療事業：クラウド型電子カルテCLIUS
- 出版メディア事業：Ray

<b>支社</b>	大阪支社、京都支社、高知支社、 福岡支社、タイ支社、韓国支社
-----------	-----------------------------------

## 企業立地協定調印式



令和4年1月13日（於：糸魚川市役所）



子育て世代の女性が活躍する新潟オフィス

## 市政トピックス

### 市テレワークセンター開所

テレワークセンターの開所式を10月16日、市役所穂高文庫西別棟で開催しました。この施設は、子育てや体面などさまざまな理由で、フルタイムで働くことが難しい人を対象とした就業施設です。

業務は、民間事業者から受注された、データ入力などをフリー



20台のパソコンが設置されたワークスペース

ワークスペースの整備のある穂高市振興公社に運営を委託します。年度内に40人のワーカークの確保を目指しており、開所式前に行われたワーカーク向けの説明会には、31人が参加しました。

宮澤市長は「時間・場所の使い方を見直し、充実した生き方・働き方につなげてほしい」と話しました。

### 市議会が政策提言 人口減少対策

安曇野市議会（小松洋一郎議長）は15日、市内の子育て環境整備などを求める「人口減少対策に関する提言書」を市に提出しました。

安曇野市の合計特殊出生率は1.44と県内19市で下から3番目に低く、昨年4月の議会報告会で市民から少子化対策を求

める声が多かったことから、市議会が調査・研究を進めたものです。

提言書では、0〜2歳児の子育て世代の支援拠点として児童館を休日も開館し、保育士や保健師が常駐すること、地域ぐるみで子育てを応援できる場として、公民館や空き家、空き店舗



提言書を通す小松議員

### 「田んぼアート」を味覚で楽しむ

10/20 信州安曇野田んぼアート収穫祭

約3ヵ月半の間公開され、延べ6万3,000人が来場した「信州安曇野田んぼアート」の収穫祭が開催されました。アートに使用したお米のおにぎりやきのこ汁のふるまい、新米の販売が行われ、来場した約200人が秋の味覚を堪能しました。また、信州安曇野田んぼアートは来年度も開催することが決定し、丸山庄一実行委員長は「来年も大勢の人が訪れるアートにしたい」と意気込みを語りました。



### 食欲の秋を存分に味わう

11/9・10 新そばと食の感謝祭 農林業まつり

第7回目となる信州安曇野新そばと食の感謝祭・農林業まつりが、穂高神社特設会場で2日間にわたり開催されました。来場者は新そばのほか、林産物ポリタンややさしいスイーツも食べ比べ、秋の風味を楽しんでいました。富山県から遠く一往に来たという黒田よう子さんは「そばが美味しく3年前から毎年来ています。安曇野のワザビも辛すぎず食べやすい」と話してくれました。

### 市議会新正副議長・監査委員など決まる

市議会臨時会が10月25日に開かれ、正副議長の改選と監査委員が次のとおり決まりました。（敬称略）

#### 市議会



議長

副議長

召田 義人

小松 芳徳

#### 総務環境委員会

◎平林明、◎藤原陽子、白井泰彦、遠藤武文、林孝彦、平林徳子、石田義人

#### 福祉教育委員会

◎中村今朝子、◎小林陽子、増田望三郎、竹内秀太郎、落窪久美子、内川集進、小松洋一郎

#### 経済建設委員会

◎松枝功、◎一志信一郎、坂内不二男、井出勝正、宮下明博、小林純子、小松芳徳

#### 議会運営委員会

◎竹内秀太郎、◎藤原陽子、松枝功、平林明、落窪久美子、小林純子、内川集進、小松洋一郎

#### 議会広報特別委員会

◎増田望三郎、◎小林陽子、林孝彦、坂内不二男、井出勝正、一志信一郎、中村今朝子、小林純子、内川集進、小松洋一郎

◎委員長◎副委員長

#### 監査委員



監査委員（議会議長選出）

坂内 不二男

監査委員（議会議長選出）は坂内不二男さんが再任されました。任期は令和3年10月22日までです。

特集

## 見つけた！テレワークで新しい働き方

～テレワーク試験導入事業を行なっています～



市民協働課 (☎内線326)

### 中津川市で始めた テレワーク試験導入事業

市では定住推進（若い世代の働きづくり）、女性の活躍推進、働き方改革（多様な働き方の創出）の観点から新たな職場づくりを検証するため、令和元年度から3年間の予定で、テレワークを先進的に取り組む「一般財団法人塩尻市振興公社（KADO）」のサポートを受けてテレワーク試験導入事業を実施しています。

※一般財団法人塩尻市振興公社（KADO）  
塩尻市による100%出資の法人。テレワークの実績があり、多数の自治体と提携をしている。

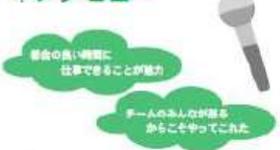
多様な働き方を目指して  
平成30年に市が子育て中の女性を対象に行なったアンケートで、現在動いていない145人のうち106人（73.1%）が「子育てしながら働きたい」と回答。育児と仕事を両立させるために、短時間での勤務などを希望する女性が多いことがわかりました。また、市が行なったアンケートでは、若い世代の転出理由の第一位は「希望する業種・職種がない」となっており、高卒卒業後の市外への転出が多い状況です。

若者が働きたいと思う業種や、子育て中の女性など時間的に制約のある方の多様な働き方の支援策のひとつとして、テレワーク試験導入事業を始めました。

テレワークの現場  
業務の拠点をわざわざプラザの会議室を改修したテレワーク専用、子育て中の女性24人がテレワーカーに登録しています。

業務は地図アプリの作成で、チームを組んでひとつの仕事を完成させていくものです。当初はテレワークを拠点とした施設利用型勤務で業務を行なっていたが、現在は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、在宅勤務中心となっています。

### テレワーカーの皆さんにインタビュー



試験導入を始めた時の初期メンバー6人にお話を伺いました。  
「テレワークを始めたとき、かけを教えてください。」  
「子どもが幼稚園に入り、自分の時間がとれるようになった時にチラシを見て応募しました。」  
「都合の良い時間で短時間の仕事もできるため、始めました。」

「パソコンの経験はありましたか。」  
「以前CADを使う仕事を経験したことがありますが、その時と全く異なる作業でした。」

でも、抵抗なく作業することができました。  
「パソコン経験はかじった程度ですが、学んでいくうちにできるようなりました。一年経験して作業にも慣れてきました。」  
「仕事には納期がありますが、新卒で一人がノルマをこなせない時は誰かが補う。まさに仕事はチームですものですね。皆さんのチームワークはどうですか。」

「個人ごとの仕事かと思っただけでしたが、チームでないといけない。チームのみんなが居たからできた。一人ではできなかったと思います。」  
「メンバーは同世代で家庭の状況も似ている。そこが強み。もともと通った仕事に就いていた人たちがチームを組んでいるので、それぞれに強い分野があって、話し合うことで前に進むことができています。」

「コロナ禍でテレワーク専用の勤務から在宅勤務になりましたね。在宅での働き方はどうですか。また、テレワーク全般についてはどうですか。」



「在宅となりましたが、リモートでチームみんなの顔が見えるので、聞きたいことがあれば聞きますが仕事を進めることになりました。」  
「リモート会議のツールも増え、活用の幅が広がりました。子どもも学校が休校になったときも自宅です仕事できました。ご主人の仕事の都合で引越した人もいましたが、住所が変わっても在宅勤務で同じ仕事を行うことができます。これは、テレワークのメリットだと感じています。」

「新しくワーカーになられる方へのアドバイスはありますか。」  
「自分で仕事につく時間をおねわ決めておいた方がよいと思います。無理なスケジュールを立てずに、メリハリをつけることが大切だと思います。ひとりではないと思います。コミュニケーションが取れるチームを一緒に作っていきましょう。」

「今後の希望はありますか。」  
「ママさんだけのテレワーク事業でなく、対象の範囲をもう少し広げてほしいと思います。」  
「長時間働ける人や、短時間から働ける人など色々な勤務形態の人がいてほしいと思います。」

「最終笑顔で和気あいあいとした雰囲気のある皆さん。1年間は一緒に仕事をさせて頂いて信頼関係が築けていると感じました。」

### 今後の展開

令和2年度はテレワーカーの追加募集を行い、説明会に参加した13人の面接を順次行なっています。現在は新規の募集を行なっていませんが、今後募集していきます。

また、新規で仕事を請け負う体制づくりや新しい働き方を確立するためによりよい形での自立に向けて検討していきます。3年間の試験導入終了後はテレワーク事業所として自立を目指します。



END

